

# 2016.07.31 いきいき富山トライアスロン 参戦記

前田 美里

忘れたと思った悔しいレース。だからこそ忘れちゃいけない反省点だらけのレースになりました。

富山湾から立山連峰を駆け上がる過酷なレースとして知られるこの大会。普段なら避けたいレースコースですが、私はこれに出ようと思いました。そのきっかけは、東北大学の学部・部活ともに直属の先輩である田村嘉規さん（以前 KTC にも所属していたとのこと）が出場するからです。日本のトップを走り続けた先輩の復帰戦、その走っている姿を見たいと思いました。ちなみに、東北大学水泳部 OB の先輩方も「Go!田村」というチーム名でトライアスロンに出ているくらい水泳部内でもスター的存在です。

会場着いて早速、田村さんにお会いし、参戦した KTC メンバーで写真を撮りました。癒されました。



今回は KTC からまっさんご夫妻、佐々木さんご夫妻、宿院さん、彩さん、キムカツさんご家族と大所帯。私はまたまたおんぶに抱っこ。富山名物もたくさん満喫して楽しい時間です。奥様方、お子さん方は明日の応援も来てくれます。猛暑の中、有り難いです。

さて、熱中症で1週間発熱にうなされていたことを言い訳にしながらレースレポートです。笑  
まず、コースについて。

スイム：海の水温は 30℃と高めでしたが、波も無く、苦手なクラゲもいなく（笑）、ウェーブスタートは3分おき。泳ぎやすい条件でした。

バイク：前半 10 kmは川沿いのサイクリングコース。後半 30 kmは立山連峰を約 600m 上がる上り続きのワンウェイコースです。個人的には、前半は宇治川や木津川に似ていて、後半は花折峠や途中峠に似ているかなという印象でした。KTC 練習会コースを十分に練習していたら満足できるバイクパートになると思います。



ラン：バイクのワンウェイで辿り着いたゲレンデにてランスタート。5 kmを2周回。ん…？ラン…？序盤から斜度 30 度近くあり、周りはみんな歩いています。驚きでした。1 kmのこの上りを上り切ったら今度は急な下り。しかも今回は途中から大雨まで降ってきて足は滑る、水は跳ねる、視界は見えない、アドベンチャー気分でした。

一方、私のレースは反省点だらけでした。スイムは第1ウェーブのバトルに巻き込まれ、脚は引っ張られるは上に乗られるは…意識を失いかけてました。酸欠状態でスイムアップ。普段より2分以上も遅いアップでした(；\_；)他の選手達はスイムのタイムが良かったとの感想が複数あったので、コースは

好条件のはずです。場所取り、コース取り、まだまだ初心者です。反省。

そんな状態でトランジットも立ち尽くす時間があり、フラフラでバイクスタート。先日までの熱中症が恐怖として思い出されます。大丈夫だろうか、とりあえず大丈夫…かな、と自問自答。

バイクは…完全に集中力が切れています。途中、奥様方の応援に笑顔と元気をもらい、第2ウェーブスタートしたキムカツさんに笑顔の声掛けに元気をもらい、第3ウェーブスタートした宿院さんに気合いを入れてもらい、終盤にまっさんにも笑顔で声をかけてもらい…なんとか最後まで頑張れました。何度もDNFが頭をよぎりましたが、その度にたくさんの元気をもらってバイクパートを完走できました。ありがとうございました。もっとレースを楽しみたかったと練習不足の自分を反省です。

ランも同様で、根性出し切れませんでした(T\_T)上り坂で一度歩いてしまうと走り出しも遅く、もう諦めかけて甘えている自分がいて、ものすごく自己嫌悪でした。

普段はゴールして倒れこみそうになるくらい息が切れているのに…根性の無い自分が情けなくて、ゴール直後から涙が止まりませんでした。ゴールで待ってくれていた皆さん、急に泣き出してごめんなさい。笑、先輩の田村さんにも良いところを見せられず…また出直します。

と、悔しいレースにはなりましたが、こんなレースも無いとすぐに調子に乗って反省しないので、良い機会と前向きに。次は笑顔のレースができるように頑張ります(^)



ちなみに今回のきっかけをくれた田村さんは速過ぎて走っている姿を見ることができませんでした。バイクで抜かれるときに一瞬でもと考えていたのですが…。鍛え直していつかまた一緒にレースに出たいです。復帰戦のエイジ優勝おめでとうございます。

いきいき富山、変化に富んで厳しいコースでした。それなのに来年またリベンジしたいと思う自分もいます。こうやってトライアスロンの壁にぶつかりながらハマっていくんでしょうね。

皆さんも熱中症にはお気をつけて。体調管理もレースの一つ。自分が思っている以上の水分摂取と十分な睡眠を！